

広報 なかがま 1月号



あけまして
おめでとう
ございます

年頭にあたって

町議会議長 池田 登



町民の皆様明けましておめでと
うございませう。内外とも
に極めて厳しい諸情勢
ではありますが、ここに
四十九年の新春を迎え、
皆様方の御健勝を心から
喜び申し上げます。私も
町議会同改選後初の新年
をつつがなく迎えること
ができ、改めて皆様方の
御厚情に対し衷心より
感謝申し上げます。顧
みて昨年は「激動の七
十年代」を象徴するよ
うに、国際問題に、また
内政面に大きな変動が
みられ幾多の重要な課
題が四十九年に持ち越さ
れております。

九七四年は我が国にと
つても、又本町におきま
しても、さらに大きな試
練の年であると決意を
しております。とりわけ
物価の異状な経済状況
、石油危機に伴う国の
総需要抑制への急激な
政策転換など、その影
響、変化に対処し、本
町がその最大の目標と
する「生活福祉」行政
の根本的指向、すなわ
ち長浜町長期振興計画
を基調とした住民福祉
の基盤整備並び

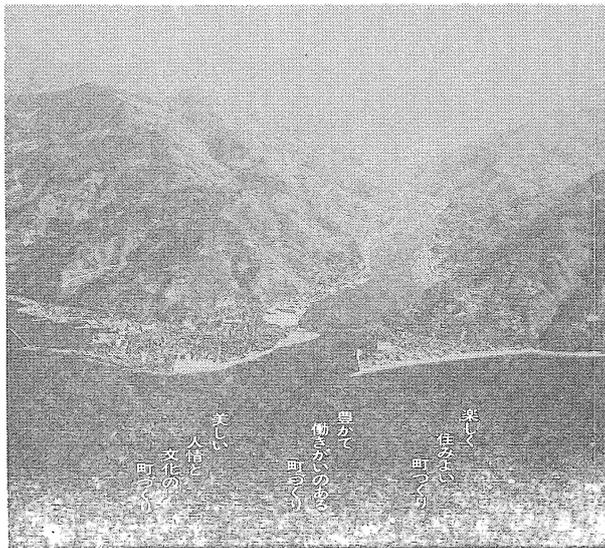
年頭に際して

町長 西田 司



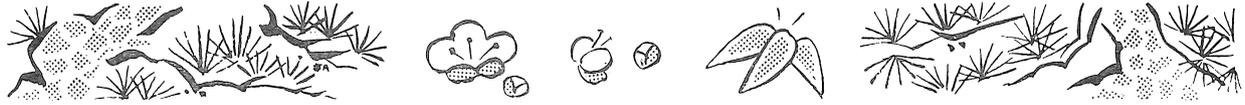
明けましておめでと
うございませう。心気
一新、町民皆様のお栄
えを心からお祝い申し
げます。石油問題を
始め、予想外の経済
変動のきざしの中に暮
れた一九七三年であり
ましたが、明けて七十
四年、昭和四十九年は
我々日本人のすぐれた
英知を結集して明るく
希望に満ちた足どりを
たどる年にしたいため
です。清々しくさわやか
な正月は、新しい勇気
と希望をふるい起す
すばらしく尊いとき
であることは古今東西
を通じて変わりません
。我が長浜町も公私
すべての人々

が日々期待に満ちた歩
みのできる年としなけ
ればならないと考え
ます。特に臨海工業開
発の推進は本町のあら
ゆる歴史を大きく変
えておるその重大な
転換期にさしかかっ
て参ります。すべてに
調和のとれた楽しい町
、豊かな町、美しい町
にするための努力が特
に大切な年になるで
あります。私も自由を
考え、自由に行動す
る楽しさ尊さを常に
確保し



たいものでありますが、
その最良の自由の維持
確保には大きな努力
と、お互いが一心同
体になれる心の触れ
合い、温かい思いや
りが必要なことを銘
記しておかなければ
なりません。物資不
足、物価高が叫ばれ
、ともすると心が物
に振り回されよう
とする今日このころ
を考えると、今年に
は特に美しい人情、
お互いの心の通い
を大切にしなければ
ならないのではない
かと思えます。そし
て乱れず着実な歩
みの中に明日の長
浜町を飛躍的な発展
へ導くよう心機を一
転させようではあり
ませんか。私にとっ
ては任期最後の一年
であり、特別の感慨
をもって皆様のすこ
やかな御繁栄を願
い、悔いのない我が
職責の遂行を決意
し、心一杯にこの新
年を祝いたいと念願
する次第であります。

地域開発計画の問題
が最も重要な段階に
あると考えますとき
、この計画推進のも
つ意義は、ただ長
浜町だけでなく、周
辺地域の限らない振
興発展のためにも
大きなものがあると
存じます。私も
議会は、町理事者
はもろもろのこと
と、町民の皆様と
一体になり、い
かなる険しい局面
をも英知と勇気を
結集し、努力を傾
注して、昭和四十
九年が本町将来の
躍進と希望に満ち
たより豊かな郷土
づくり、心豊かな
人づくりへの意義
ある年であることを
念願いたします。共
に、皆様御一家の
御繁栄と御多幸を
心からお祈り申し
げます。年頭に際
し今後一層、町民
皆様方の御支援と
御協力を切にお願
い申し上げます。町
議会議長を代表し
新年のごあいさつ
いたします。



おしらせ

児童手当支給 範囲広がる

一月から受付

昭和四十九年四月一日から児童
手当の支給範囲が広が
り、十八才未満の児童を三人以上養
育（一人以上は義務教育終了前の
児童がいることが条件）している
人に児童手当が支給されること
になりました（これまでは十才未
満）。一月から受付を始ま
す。くわしくは役場住民課へ。

ごぞんじですか？

つぎのような手当や年金制度が
実施されていますが、御存知ない
方がおられるようです。ソ
ンなされないように、くわ
しくは役場住民課へ。

○児童扶養手当

父親と生活を共にできない児
童についてその児童を監護する母
もしくは養育者には手当が支給さ
れます。

○特別児童扶養手当

重度の障害を有するために日常
生活に常時介護を要する二十才未
満の児童を家庭において養育して
いる家庭には手当が支給されま
す。

○心身障害者扶養共済制 度

保護者が毎月掛金を支払うこと
により保護者が死亡、廃疾した場
合、障害者に対し終生年金が支給
されます（加入資格は心身障害者
を扶養している四十五才未満の
人。）

レポート 11月

北海道から研修生

慣れぬ傾斜地でミカン摘み

一行は二十八日長浜入りまず中央公民館で

『イヤーまいったまいった』
28日～12月2日 町では、これからの長浜町を背負う町内在住の勤労青年に、県外の生活、産業、教育、文化を見て頂き、地域振興に役立てて頂くとういうねらいのもとに、昨年「勤労青年国内研修」を実施しており、昨年と今年とは東北・北海道方面への研修を実施したが、二十八日、こんどはそのときの研修地である北海道河東郡の勤労青年国内研修生の一行三十四人が、主にミカン農家を中心とした長浜町の農業を研修するため、十二月二日まで滞在し、ミカン農家やシイタケ栽培農家に民宿して実習するとともに、町内の青年たちとの交換を通して研修し



「急坂や狭い畑での仕事は初めでだが、よい経験」……と。
(今坊・津田龍雄さんのミカン園で)

増田助役らからの観迎のあいさつ、長浜町の農家の実情などを聞いたあと、町内のミカンやシイタケ農家など十七戸(平均一戸に二人)に分散民宿して実施研修をした。
今坊のミカン農家・津田龍雄さん方に民宿した一研修生は、「平たん地でしか仕事したことがないので、足もとが大変だね」「こんなに一つ一つ手を使ってする仕事は余りないので、予想以上に大変だ、マイツタよ」と言っていた。
また、出海のミカン農家・井上勉さん方に民宿した研修生のひとり、この十町と、北海道の一畝の収益が同じくらいですな」と、面積の割合いでみる生産性の高さに感心していた。

レポート

この欄は別記レポート以外のものを日にち順に簡単に報告したもの。保健衛生事業は省く。

過去をみて

現在を考へ

未来を豊かなものに

1日：白滝地区で第二次林業構造改善事業の説明会開く。

2日：①豊茂地区敬老会行方。対象者九十四人のうち約六十人出席(出席率約六四割) ②豊茂地区で第二次林業構造改善事業説明会開く。

5日：①長浜町議会が町管理施設を視察 ②定例の民生委員会開き ③独居老人対策や重度心身障害児家庭の訪問を行うことなどについて協議 ④長浜町防犯相談所長会開き ⑤少年の非行化防止について協議 ⑥榊生地区で第二次農業構造改善事業の説明会開く。

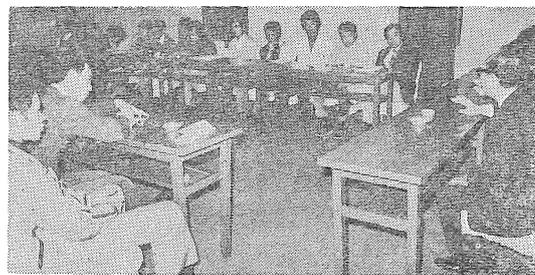
7日：①長浜町職員資格試験の面接試験行方。二十九人受験 ②山口県東和町教育委員五人が長浜中学校を視察。

8日：①長浜町PTA連合会の評議員会開き、給食施設設置の推進方法など協議すると共に、宇和町給食センターの視察やPTA研究会に出席しての反省を行う

9日：①白滝生活学校開く。十八人出席。家庭電気機具の取扱ひ方の学習と料理実習行方。

9日：県商工課の係員が来町し内陸部工場の適地調査行方。

10日：①白滝地区三老人クラブ秋季総会開き、今年度上半期の経過報告をもとに意見を交換 ②青年大学開く。同大学生五十五人のう



27日…青年団主催の町政懇談会開く 将来の長浜、今後の農業問題に話題が集中していた

ち二十二人出席。経済成長と国民生活について学習 ③大和公民館の部落館長研修会開き、公民館活動と生涯教育についてなど研修。
12日：①長浜町老人家庭相談員の会開き、独居老人の事故防止について協議検討 ②長浜幼児学級開

く。約二十五人出席。幼児の心理について学習。

31日：①町内の上水道の配水管敷設替え工事及び新設工事の入札行方。②米の生産調整打合せ開き、経過報告を行うと共に今後の現地確認についてなど協議。

14日：白滝保育所母の会講演会開く。五十人出席。

15日：長浜公民館の部落館長研修会開く。部落館活動推進について研究討議。

16日：①長浜町読書推進研究大

会開く。約二百五十人参加。読書グループをどのようにしてつくるか・親子読書をすすめるにはどうしたらよいか・これからはどんな本を読んだらよいかの三点をテーマに研究討議行方 ②長浜婦人学級開く。二十六人出席。電気器具の選び方、安全で上手な電気の使用方について学習 ③町内の事業所を対象に、源泉徴収手当調整の説明会開く。

23日：白滝るり姫祭り開催。約三千人の人出でにぎわう。

26日：①山口県の町村長が長浜町社会福祉協議会の活動状況など視察のため来町 ②文化財専門委員会開き、戒川の三島神社周辺の樹木及び草、及び同地区榎谷にあつた道しるべの文化財指定について検討、その結果、具体的な調査を行い、その結果により決定するよう決まる ③長浜町農業委員会開く。

27日：①老人ホーム白山園のお年寄り約二十人を一般家庭や公民館に招き「敬老の家」を実施 ②長浜町連合青年団が町政懇談会開く。団員約四十人出席。町から増田助役出席 ③長浜中学校集団カゼ発生のため午後から二十九日まで休校。

28日：柴家庭教育学級開く。婦人ら約二十人出席。純潔教育について学習。

29日：①長浜町商工課長、大洲市観光課長、双海町開発課長の三者で、壺神山(戒川)の観光開発について協議。その結果、壺神山開発協議会(仮称)といったものをつくって、同地の観光診断を行うことに決まる ②長浜小学校集団カゼ発生のため、午後から十二月二日まで休校。

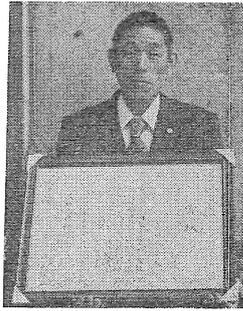
その他：十一月の心配ごと相談所利用者一人。

表彰

“みごと”

農林大臣賞

上田さんの シイタケ



表彰状を手に喜びの上田さん

豊茂の上田虎雄さん(五二)の出品したシイタケが、去る五月二十一日、松山市で開かれた「愛媛県しいたけ共進会」で、みごと最高賞「農林大臣賞」に入賞。十一月二十三日東京の明治神宮でおこなわれた「いなめ祭典」での受賞式の席上、桜内農林大臣から表彰された。

表彰のあと、各県の受賞者とともに県下ではただ一人、農林大臣ら出席のもとに開かれる「集荷を感謝する集い」や、皇居参観などへの招待を受け出席された。

上田さんは、去る五月八日に開いた「長浜町シイタケ共進会」に出品したシイタケ(こうしんの部)が特賞となり、長浜町代表で県共進会に出品し、同賞に輝いたもの。

池田さんら32人
— 献血協力で —
【日本赤十字社表彰】
献血10回以上
池田帝子(長浜)、井上清(黒田)、植杉岳志(楠生)、二宮幸則、渡辺スミエ(以上下須戒)、児玉俊二(白滝)。

【愛媛県知事表彰】
献血5回以上
山本 太、林 悦子、矢野シズカ、吉岡節子、石本紀美子、宮本啓子、尾上真也(以上長浜)、東正一、東 満子、石田辰見(以上黒田)、明智恵子、浪本忠則、岡本英子(以上沖浦)、松本嘉久、

山田ミサ子、西村 健(以上上海)、下田容子(下須戒)、菊地洋一(穂積)、叶 義章(上老松)、亀田哲久、松田吉幸、増田勝敏(以上豊茂)、成田篤泰、日野友義、窪 エミ、新 鈴子(以上白滝)

寄付

○白滝保育所後援会：野菜調理機(四万二千円) 一台を白滝保育所へ。

結婚



11月長浜町役場届出分(敬称略)



11日のトップは木下新一さんと石岡笑子さんのカップル

住 氏名・婚姻届時年齢
長浜 木下 新一(二五)
保内町 石岡 笑子(二九)
長浜 清水 敏一(二九)
今長 築地 純己(二三)
長浜 矢間 重子(二三)
下須戒 真谷 道雄(二三)
松山市 真田 道代(二三)

訂正 本紙十一月号の八ページの「寄付」の欄で、○仁久の佐伯富士夫さん(四二)友石甫さん(四二)、今治市在住(仁久出身)の島田寅男さん(四九)：「長浜分団第二部ポンプ蔵置所敷地に」と、土地十七・五六平方尺を町へとお知らせしていましたが、これは寄付者名が、「仁久地区(一区・二区・三区)」の誤りでした。御訂正ください。

お誕生おめでとう!!
11月届出分(敬称略)
住 氏名
長浜 保護者氏名 続柄 児名
田 淵 嘉太郎 三男 祐一

おくやみ

11月届出分(敬称略)

住 氏名・死亡時年齢
長浜 小谷 喜吉(五七)
長浜 石岡コモト(八九)
長浜 石丸 トリ(八四)
長浜 泉 久治郎(八五)
沖浦 宮田善一郎(七九)
今長 中田 重昌(四四)
今長 濱田フユノ(七七)
須賀 富田ミスエ(七五)
白滝 大塚 好子(四九)

沖浦 岡 義也 長男 智也
沖浦 次家 弘志 二男 直人
出海 後藤シヲ子 男 大輔
下須戒 松本千代守 長女 清己
豊茂 小西 貫一 長女 千絵
白滝 成田 滋 長女 一江



楽は苦の種 苦は楽の種、楽の終わったところが苦であり、苦の終わったところが楽であることは少し物を考える人なら誰でも気づく人生の常態である▲明けて昭和49年、四十九は「始終苦」とか「死+苦」とかこじつけて忌み嫌う習慣があるが、諸行は無常、永遠の楽もなければ永遠の苦があるはずもない。永遠に苦しみが続くという無間地獄も、永遠の楽しみが与えられるという天国や極楽浄土も人間が勝手に描きだした幻に過ぎまい▲新年を迎えてこのことが分っただけでもお正月の意義はまことに大きかったとすることができようが、さらにもう一步進めて考えて見てはどうか。あらゆる苦しみはこうありたいと心にきめておる目標を実現するための努力に置き替えて見よう。人一倍の努力は一応は苦しくとも大願成就の喜びを前提とした楽しみを秘めた苦勞である▲あなた任せの無目的な生活を送るものにはこの苦しみを楽しみに変えるすべはない。それは目的と計画を持つ者だけの特権である。ここに一年の計は元旦にありという大きな意義があらためて見直されるではないか▲四十九年を始終楽年に置きなおして、物資不足も物価高も吹き飛ばしてみようではないか。

人口世帯数

楽しく住みよい町・豊かで働きがいのある町
・美しい人情と文化の町一をつくり、人口をふやしましょう。

	12月1日現在	前月との比較
人口	14,115人 (男6,686人 女7,429人)	4人減 (4人増 8人減)
世帯数	3,968世帯	7世帯減

